

京都アライアンス提供科目一覧

科目名	概要
①非営利組織の理論と実績	本講座は、日本の非営利組織の発展を目指す観点から、非営利組織の理論的背景、現実的意義、これまでの到達について、系統的に学習できるように構成されています。
②都市の現代的振興論	20 世紀後半～最近までの先進諸国の都市事情（欧米の都市）、都市計画制度、アーバンデザインに関する動向について知り、わが国の地方都市の持続可能性について考える講義です。
③公共政策学の基礎	この講座では、公共政策学を学ぶ上で必要とされる基礎的な知識を習得することができます。講座を通じて、公共政策学の基本的なトピックを全般的に学ぶことができます。
④文化経済・文化政策論	芸術や文化遺産をはじめとして、文化の生産・消費の経済的特徴、公的支援の根拠と方法を学んだ上で、具体的事例として京都の観光政策、文化財政策について取り上げます。
⑤地域課題解決に果たす企業の役割	この講座では、企業に関する基礎的な知識を学び、京都の企業が取り組む地域課題解決の事例を通して、今日の地域課題解決の担い手としての企業の役割について考える。
⑥地域農業の再生・創生	地域農業の課題やその対応事例を学習します。前半 4 回の講義では、総論として地域農業に関する理論を、後半 3 回の講義では、農業の 6 次産業化、エコツーリズム等の各事例を紹介します。
⑦共生の社会学	「身分制社会」や「貴賤による差別」「競争社会」「能力による抑圧・排除の正当化」を通して、共生社会は可能なものかについて学びます。
⑧政策づくり入門 —よい政策が分かる よい事業がつかれる—	よい政策をつくるために必要な 4 要素（目的、調査、手法、実現）を学ぶことで、政策づくりに必要な能力を習得します。
⑨公民協働におけるファシリテーション技法	公務員が公民協働を進めるにあたって必要なファシリテーションの技法を習得することができます。
⑩地域に飛び出す公務員	様々な公務員の事例を知り、これからの公務員に必要な姿勢・考え方を学ぶことができます。
⑪地域課題と法政策	地域の課題を考える際に必要な公共政策的な視点についての紹介を踏まえ、自治体改革や地域協働、少子高齢化、地域と社会安全という個別課題を解決するための法政策について学びます。
⑫地方創生における教育学の役割と可能性	地域における教育の役割について、国内外の事例を参照しながら、その理論や枠組みについて学びます。
⑬地域公共人材論発展	産学公民の視点から、地域で活躍する人材「地域公共人材」に求められる能力や知識について考えます。

*①～⑫については「初級地域公共政策士」の資格科目として地域公共人材開発機構の社会的認証に申請中です。
JQF レベル 6 を想定しています。